

士族の失望と不平不満は世に充満し、どちらを向いても社会不安の種子は尽きない有様だ。

しかも岩倉使節團は一行の留守中に重大案件の変更を生じさせないこと、もし紛争が起きたら必ず使節團と討議の上で裁断すべきことという一札を取って行ったから、留守内閣のやりにくいことはおびただしかった。当然異論もずいぶん出た。苦勞して使節團と居残り政府の關係との仲を丸く調停したのが大隈重信であった。

人事に腕を揮った。大藏卿の大久保利通が副使として出掛けてしまったので、代わりに大藏大輔だった井上馨に事務を統括させ、補佐に敏腕な洪沢栄一を起用した。

統一であった。廃藩置県前には全国諸藩でまちまちだった財政を中央政府の権限に一本化し、同じくばらばらだった貨幣制度を「円」で一元化しなければならなかった。

「蓋し幾多の藩々は、其大小を問わず、何れも其藩力の勝えん限り、否、寧ろ勝えざる程の負債を起し居れるのみならず、窮迫の余に前後の考えもなく、妄りに紙幣を發行せしより、其紙幣の価格は痛く下落し、僅々廿三藩の發行にかゝるもの、外は殆ど之を顧みるものもなきまでに至れり」(同前書)

まさか廃藩置県になるとは知らぬ旧藩は、やたらに紙幣(兌換の見込みのない銀札)を多量に發行したり、藩内の資産家と見ると強迫的に御用金を課して藩に融資させ、負債をふやしたりして借金で首が回らぬ有

様になっていた。これをいったん中央政府で引き受けて整理したのである。

また、藩によつては独自に諸外国と通商貿易をしていたところもあつた。中には支払い能力が疑わしいケースもあり、負債の弁済、商品代価の支払いなどをめぐつて国際訴訟が起こされることも多かつた。それも廃藩置県後は、紛争はすべて中央政府の責任で処理されることになつたのである。外国債を処分し、濫造された粗悪な紙幣や幕末動乱期に盛んに鑄造された贋金を償却することが留守政府の急務だつた。

いつの時代にも時局に便乗して儲けようとする輩はいるものだ。「廃藩置県の当時に於て、藩制の引続、整理を任托せられしもの、如き、言わば、行かけの駄賃に種々の悪事

を働き、以て私を営むのことにすら少からざりしたため、(中略)詐欺、陥窃など、凡そありとあらゆる不正不当の悪手段は其間に行われ、財政及び外交の局に當るものをして其制抑と調査とに懊惱せしめたりき」(同前書)

大隈らの苦心の結果、政府に引き継がれた旧藩債は新貨幣三千八百五十万円で相当すると見なされたが、その後したいに評価額を下げ、実質額二千四百四十四万円で新旧貨の交換を終了した(山本有造、前掲論文)。

大隈財政は強引さをもつて知られ、その上、諸外国の要求で早く貨幣制度を一本化しなければならなかつたから諸藩の個別的な事情は二の次にされた。そのためずいぶん多方面から怨みを買つた。

中小企業のための

個人情報保護認証

スピーディな審査

リーズナブルな価格

所轄省ガイドライン及び

JIS Q15001 基準クリア



苦情処理ご相談対応随時

JAPICO

マーク認定機関

募集

認証希望企業

エージェント (代理店)

認定審査員 (個人又は企業)

詳細は本部宛お問い合わせ下さい!

一般社団法人 日本個人情報管理協会
(経済産業省所轄「認定個人情報保護団体」)
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5
麹町アネックスビル TOJ201
Tel.03-3262-5151 Fax.03-3239-7585
✉ japico5151@japico.jp

www.japico.jp